

## 境港市環境基本計画（案）に係るパブリックコメント実施結果について

意見募集期間	令和4年1月28日（金）～令和4年2月28日（月）
資料公開場所	境港市清掃センター、市役所本庁舎、各公民館、なぎさ会館、しおさい会館、境港商工会議所、市ホームページ
意見提出者数	9人

件数	番号	該当ページ	意見の主な内容	市の考え方・対応	計画修正の有・無
1	1	4	計画をSDGsと関連付けていることは評価できる。	本計画においては、SDGsの要素を最大限反映させることで計画の推進とあわせてSDGsの目標達成に取り組めます。	無
	2	44	P D C Aサイクルをしっかりと実行してほしい。	本計画においては、P D C Aサイクルの実施により、継続的な改善を目指します。	無
2	3	5	計画の段階的な目標を記載しておく、必要性が分かりやすく、途中での修正も行いやすい。	本計画においては、計画期間を前回の10年間から5年間に短縮しており、年次目標や中間目標は設けておりません。	無
	4	—	業界ごとに聴き取りを行い、設備への補助体制を整えてほしい。	本計画策定にあたっては、事業者アンケートを実施し、内容に反映させたところです。今後も継続して意見を伺っていく方針です。	無
	5	22	漁協などと協力し、海洋清掃・調査を行ってはどうか。	令和4年度より、鳥取県が鳥取県漁協境港支所に委託し、海底清掃を実施する予定となっています。	無
	6	24	釣りスポットを整備し、釣り客から管理費を徴収し、ゴミ袋を配布してはどうか。	釣り客などに対するごみ持ち帰りの周知については、本計画に従って取り組んでいきます。釣りスポットの整備については、関係機関にお伝えします。	無

	7	18	ごみ処理費について、リサイクル出来ないものは高く、リサイクル出来るものは安く設定することで製品購入時からの意識の変化や分別意識の向上が図れると思う。	ごみ処理費に関することは、令和4年度に改定予定の「境港市一般廃棄物処理基本計画」の中で検討いたします。	無
3	8	—	デジタルガバメント等への取り組みを盛り込んでも良いのではないか。	デジタル化の推進による業務の効率化や省力化、ペーパーレス化などを推進していく必要があると認識しています。令和4年度に改定予定の「境港市温室効果ガス排出削減実行計画（事務事業編）」の中で検討いたします。	無
4	9	—	この計画をもとに、市民一人ひとりが普段の仕事や生活の中で常に環境を意識していくことが大切。	令和4年に本計画のダイジェスト版を作成し、一人ひとりの行動変容につながるよう多くの市民に計画内容の周知を図ります。	無
	10	—	自分自身が環境に関わる当事者として、責任ある立場であるということを認識してもらう必要がある。	同上	無
5	11	11	市域から排出されるCO2排出量削減の目標値が不十分。先進国は、2030年までに最低でも50%の削減目標を掲げている。	今回の目標値は、国の「地球温暖化対策計画」と整合を図った数値としております。令和4年度に鳥取県が目標を引き上げることを検討しているため、来年度以降、県の状況を見ながら、必要な変更を行います。	無
	12	14	事業所への再生可能エネルギー導入について、具体的に保証すべき。	本計画において、事業所の再生可能エネルギー導入に対する支援策の検討を行います。令和4年度には、これまで家庭用に限定していた太陽光発電システムの導入に対する補助金を事業所にも拡大する計画です。	無

13	14	市民交流センターに太陽光発電設備を設置し、気候危機打開の市民教育の場として活用すべき。	市民交流センターへの太陽光発電設備の設置については、設計段階で検討を重ねた結果、コスト等の観点から設置はしないと判断したところです。本計画においては、公共施設における屋根等の未利用スペースでの初期投資ゼロ型等の自家消費型太陽光発電の導入や遊休公有地を活用した太陽光発電に取り組むとしており、環境教育も含めて推進してまいります。	無
14	17-18	燃えるごみの削減で紙おむつの再利用を市民に呼びかけ実行する積極的対策を行うべき。	本計画においては、4R+Renewableの更なる推進を図ることとしています。現在取り組んでいる紙おむつのリサイクルにつきましては、引き続き、積極的に取り組んでまいります。	無
15	17-18	不要になったものをごみに出すのではなく、再利用する手助けを市が行ってはどうか。	本計画においては、4R+Renewableの更なる推進を図ることとしています。不要になったもののリユースについては、先進地の事例を研究するなど、効果的な取り組みを検討します。	無
6	16	「第10次境港市総合計画（案）」では、「海水浴場などの整備について、関係機関とともに調査・研究する」とあるが、「境港市環境基本計画（案）」では、美保湾の水質改善があげられていない。美保湾のごみ回収だけでなく、河川からの汚水などの環境整備を実施して境港の綺麗な海で安心して遊べるよう、水質の改善対策を明記してほしい。	美保湾の水質については、良好な状況が続いていることから、水質の改善対策は計画にあげていませんが、海洋ごみの対策については、引き続き取り組んでまいります。	無

7	17	14	脱炭素社会を目指すことは容易ではないが、市職員、市議会議員が、特に推進を図るとともに啓蒙活動を行うべき。	市では、「境港市温室効果ガス排出削減実行計画（事務事業編）」を策定し、率先して事務事業から排出される温室効果ガス削減に取り組んでいるところです。今後も市民や事業所と一丸となって、脱炭素社会の実現を目指していきます。	無
	18	27	市報、公民館だより等で、繰り返し啓蒙を図るべき。	本計画においては、「環境に関する情報提供の充実」を掲げており、引き続き、市報等による啓発や環境学習等に取り組んでまいります。	無
	19	14	営農型太陽光発電について、補助金を出すべきでなく、農家と企業の仲介役に徹するべき。	「営農型太陽光発電」については、本市における導入の可能性とあわせて、市の役割についても検討してまいります。	無
	20	14	蓄電池への補助金を出すことになっているが、今すべきことではない。	家庭用蓄電池への補助については、鳥取県と協調し、令和3年度から開始したところであり、再生可能エネルギーの有効活用や防災の観点からも引き続き、補助を行っていく方針です。	無
	21	35	フードドライブ、フードバンク等について、社会福祉協議会などとの連携はできているか。	フードドライブ及びフードバンクについては、現時点で市として、本格的な取り組みを行っていないため、今後、鳥取県や社会福祉協議会などと連携しながら推進してまいります。	無
	22	17-18	制服、ランドセル等もリユースできるようなシステムを作るべき。	本計画においては、4R+Renewableの更なる推進を図ることとしています。不要になったもののリユースについては、先進地の事例を研究するなど、効果的な取り組みを検討します。	無

8	23	1,2,11	「はじめに」のところに「境港市は、2021（令和3）年2月に「ゼロカーボンシティ」として2050（令和32）年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとする都市を目指すことを表明しています。」と記載することが大切ではないか。	「はじめに」については、本計画の全般的な内容と地球環境を守り未来へ引き継ぐ強い思いを掲げております。「ゼロカーボンシティ」の表明については、2ページと11ページに記載していることから、「はじめに」に入れておりません。	無
	24	—	国の基本計画からは、現在の地球環境が危機的状況に直面していると思った。今後、より具体的に効果的な対策を多く発見し、実施する必要があると思う。	現在の地球環境が危機的状況にあることは、本市の計画においても共通の認識です。国や鳥取県と連携しながら、効果的な対策を検討します。	無
	25	12	境港市が「課題解決先進市」になるため、新たに策定する「温室効果ガス排出削減実行計画（区域施策編）」の内容が大切だと思う。	「境港市温室効果ガス排出削減実行計画（区域施策編）」は、令和5年度に策定する予定です。効果的な計画とするよう内容について十分に検討してまいります。	無
	26	11	市の事務事業から排出されるCO2の削減目標について、「現況値より削減」より、「44.2%目標値を大幅に超えて66.4%達成」という表現が良いのではないかと感じる。	「44.2%目標値を大幅に超えて66.4%達成」については、説明部分で触れています。目標値については、令和4年度に改定する「境港市温室効果ガス排出削減実行計画（事務事業編）」の中で定め、「境港市環境基本計画」にも反映していく予定です。	無
	27	12	CO2の排出抑制については、現在記載以外の策も検討してほしいと思う。	CO2の排出抑制については、引き続き、情報収集に努め、効果的な方策を検討いたします。	無
	28	12	「脱炭素先行地域に選定されること」は、かなり難しい課題だが、チャレンジすることは、大いに評価できる。	本計画では、5年以内に「脱炭素先行地域に選定されること」を目指すこととしており、取り組みを進めてまいります。	無

9	29	35	ハイブリッド車は、ガソリンを燃料としているので環境には不可。	将来的には、CO2排出ゼロの自動車に切り替わることが望ましいと考えますが、現時点では、国の「地球温暖化対策計画」においてもハイブリッド車が位置付けられていることから、本計画においても「市民に求められる行動」の中でハイブリッド車を含めて記載したところではあります。	無
	30	12	電気自動車の普及に当たり、充電スタンドが少ない。	現在、電気自動車の急速充電器は、市内に2箇所しかないため、設置箇所を増やしていくことが課題となっています。 計画に市内における電気自動車急速充電器の充実についての記述を追加します。	有
	31	12	電気自動車は、ガソリン車に対して製造時の二酸化炭素排出量が多いとの試算がある。	電気自動車の製造段階から廃車になるまでの二酸化炭素排出量の算定方法については、今後、国土交通省が検討を行うとのことから、その状況を注視してまいります。	無
	32	—	境港では、大型の貨物船、クルーズ船等の入港に対して燃料の規制を行っているのか。	関係機関に確認したところ、船舶に対する燃料の規制は行っていないとのことでした。	無
	33	—	漁船、遊漁船、レジャーボート等の船舶に対する二酸化炭素排出量の規制があるのか。（窒素酸化物の排出では、国際規格があり、新造船では規制されている。）	関係機関に確認したところ、船舶に対する二酸化炭素排出量の規制は行っていないとのことでした。	無
	34	—	漁船、遊漁船、レジャーボート等の船舶が河川等禁止されている場所に係留されている実情があるが、これらに対する罰則はあるか。	関係機関に確認したところ、港湾内の一部指定区域及び境水道（一級河川斐伊川）では、罰則を設定しているとのことでした。	無

35	—	漁船、遊漁船、レジャーボート等は、燃料の高騰により、放置される恐れがある。プラスチック船が大半を占めているが、その対策はあるか。	関係機関に確認したところ、現在、放置対策強化のため、放置等禁止区域の指定範囲を港湾区域全域に拡大する手続きを進めており、これにより、罰則を科す範囲が港湾全域となるとのことです。	無
36	32-33	境港市では、一戸建ての建築年数の古い家屋が多数あり、冬場に灯油ストーブで暖をとっている。(二酸化炭素排出量が多い。)	本計画では、家庭における脱炭素行動として、「省エネ住宅」や「省エネリフォーム」などを掲載しており、これらの市民への周知に努めてまいります。	無
37	14	農地に太陽光発電を設置すると記載されているが、境港市では、農地が平坦なため、太陽光の下で農業を行うのは不可能に近い。	「営農型太陽光発電」については、本市における導入の可能性を検討してまいります。	無
38	22	農地に浸み込んだ化学肥料等の化学物質が、河川を經由して海に流れ込み、海洋汚染の原因の一つになっている。	特に中海の水質保全については、鳥取県及び関係自治体と連携し、総合的な対策を進めていきます。	無
39	22	境港市環境基本計画では、実際の事例をあげて、市民に対して理解しやすくするのが良いと思う。(例：マイクロプラスチックの大きさは、5mm以下。)	本計画に使用した用語については、必要に応じて説明を加えておりますが、他にも必要な箇所がないか再度点検します。 計画に海洋プラスチックごみの説明を追記します。	有